

包括的女性活躍推進事業【兵庫県明石市】

地域の実情と課題

市内の本社機能を置く事業所の9割以上が中小企業であり、女性活躍への理解が進んでいない状況であるが、中小企業単体の取組は経済的にも困難である。

目的・目標

女性活躍を推進するために、事業主や従事者を対象に研修を実施する。令和2年度は特に男性に女性が活躍できる環境を整えるため、イクボスを増やすとともに、男性自身の意識改革を促す取り組みを行う。また、女性の活躍推進のためのネットワーク拡大に向け、多様な主体によるネットワーク組織『あかし女性応援ねっと』（以下「応援ねっと」という。）の加入者数を増やし、研修の充実や加入者同士の交流を図る。未来を担う若年層に対し、キャリアデザインが描けるようイベントを行う。

事業の特徴

事業所における女性の活躍推進事業と、女性の活躍推進のネットワーク組織「あかし女性応援ねっと」の拡大、広域化。若年層を対象としたキャリアデザイン形成支援。

連携団体

「あかし女性応援ねっと」

事業の効果

- ・新型コロナウイルスの影響で事業の一部が中止。
- ・事業所や分野を超えて学び・交流できる場を作ることで、地域全体の女性の活躍推進に向けた機運の醸成をはかることができた。

「あかし応援ねっと」加入者数

今後の課題

市内の本社機能を置く事業所の9割以上が中小企業であり、女性の活躍への理解がまだ十分とは言えない。しかし、取組を展開するにも中小企業単体では経済的にも困難である。このため事業者及び各種団体のネットワーク「あかし女性応援ねっと」を構築し、意識啓発のための研修会等のイベントを複数回にわたり開催してきた。

さらに取組を加速させるためには、①先進事例の取組紹介、②応援ねっとのネットワークを活かしたセミナーやワークショップなど学びの場と交流する場の提供、③若年層への取組強化が課題である。

事業の概要

<日本女性会議2020あいち刈谷> サテライト会場を開設

開催日	会場	参加人数
2020年11月13日(金)	複合型交流拠点ウイズあかし学習室 701A	のべ14名
2020年11月14日(土)	複合型交流拠点ウイズあかし学習室 801A	のべ9名

【内容】

日本女性会議がオンライン開催になったため、参加希望者を募り、サテライト会場を開設しました。

最新のトレンドをオンラインで聴講できる貴重な機会に、あかし女性応援ネット初の試みとなるサテライト会場を開設し、参加支援に取り組みました。

ご自身ではオンラインで申込みができなかったり、オンラインの環境がない方でも参加できるという機会を作りました。



▲ 会場の様子



▲ 関連グッズ等の展示

【まとめ】

例年であれば遠い現地へ赴かなければならない会議に明石で参加できたこと、また、オンラインを取り入れた事業展開は、今後の活動にもつながる意義深いものとなりました。

会場のウイズあかしは「女性に対する暴力をなくす運動」(11/12～25)期間に合わせ、紫色の装飾が施されており、パープルリボン運動の雰囲気の中での開催となりました。

コロナ禍で変化する、新たな事業の在り方の第1歩となりました。

女性応援講演会

『女性がいきいきと生きられる 社会に向けて
～大人が変われば 子どもが変わる～』

開催日時	2021年3月20日(土) 13:30～15:30	
会場	複合型交流拠点ウイズあかし学習室 704	
参加者数	【会場】33名	【オンライン】28名

【講師】 辻 由起子 さん

(社会福祉士・保育士・
大阪府子ども家庭サポーター)

【内容】

講師のこれまでの人生や、講師のもとに舞い込んでくる様々な事例を通して、これからの社会に向けて

生きやすくなるためのヒントとパワーをいただきました。

また、第2部では質問・相談タイムを設けました。会場の様子をYouTubeライブで配信し、感染症対策と遠方からも参加できる体制を整えました。



▲ 会場の様子

【まとめ】

女性が感じる事が多い「生きづらさ」を乗り越え、いきいきと生きていくためのヒントをパワーをいただきました。



▲ オンラインの様子
(右上:講師 左上:手話通訳者)

参加者からは、「これから自分に何ができるのか考えたい」と前向きな声が寄せられ、オンラインでは福岡や愛知からも参加がありました。

これまでは届けられなかった場所へ活動を広げることができたと実感するものとなりました。